

そ 曾 於 お 議会だより

2012. 2

No.27



| | |
|-------------|----|
| 平成22年度決算を認定 | 2 |
| 新体制スタート | 6 |
| 正副議長あいさつ | 8 |
| 市政を問う 一般質問 | 9 |
| 委員会報告 | 16 |

深川小学校持久走大会
(P20参照)

今後に生かせ!

あたりの借金

186,000円
703,000円

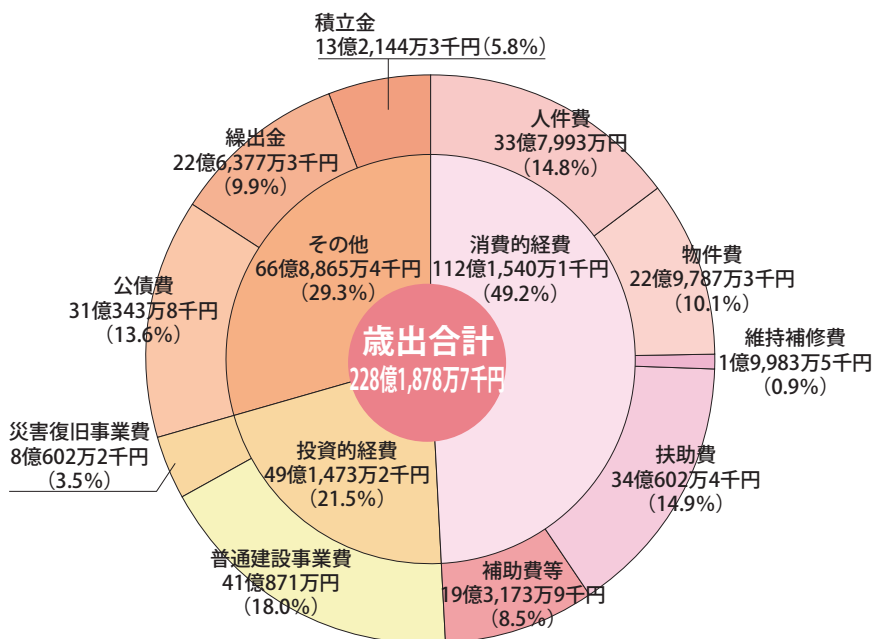
75億6,476万円
285億1,552万円

平成23年3月末現在の額を含む

平成22年度 会計別決算状況

(千円以下切り捨て)

| 会計名 | | 歳入総額 | 歳出総額 |
|-----------|----------|-------------|-------------|
| 一般会計 | | 239億9,476万円 | 228億1,878万円 |
| 特別会計 | 国民健康保険 | 59億3,092万円 | 58億6,729万円 |
| | 老人保健 | 82万円 | 82万円 |
| | 後期高齢者医療 | 4億7,100万円 | 4億7,045万円 |
| | 介護保険 | 45億9,095万円 | 42億6,244万円 |
| | 公共下水道事業 | 3億9,764万円 | 3億9,106万円 |
| | 生活排水処理事業 | 7,999万円 | 7,867万円 |
| 水道事業(収益的) | | 5億5,362万円 | 4億8,647万円 |



○歳出関連用語解説

消費的経費

市政を運営するために毎年必ず確保しなければならないお金(家庭で考えると、食費や光熱水費、交通費など)

投資的経費

建物、道路等建設に関する経費
毎年規模や額は変わる
(家庭で考えると、地デジなどのテレビ購入、家の増築など)

その他

公債費の元金や利息の返金、特別会計運営のための支援など
(家庭で考えると、家や車代のローン返済金、貯金の積立など)

扶助費

高齢者・障害者等に対する援助費等福祉及び教育支援経費など

決算認定!!

平成22年度 歳出総額343億円

市民一人 貯金と

貯金
借金

平成22年度一般会計・国民健康保険特別会計など、8会計の決算は閉会中の12日間にて決算審査特別委員会（委員13名）を開催し、慎重に審査を行いました。審査の結果、10月31日の第2回臨時会において報告され、いずれも原案のとおり認定しました。

12月定例会は、12月5日に開会し、12月26日閉会しました。

定例会では、宮崎県都城市との定住自立圏の形成に関する変更協定の締結及び指定管理者の指定、平成23年度予算の補正に関するものその他、報告1件、議案29件、陳情1件、発議2件などを審議・議決しました。また、陳情1件については継続審査となりました。

基金（貯金）総額
市債（借金）総額

※一人あたりの金額は、
人口40,529人で除
（一般会計と特別会計

○歳入関連用語解説

自主財源

市税を始め、使用料や手数料など市が自主的に収入する財源のこと（家庭で考えると、給料や土地等の支払収入など）

依存財源

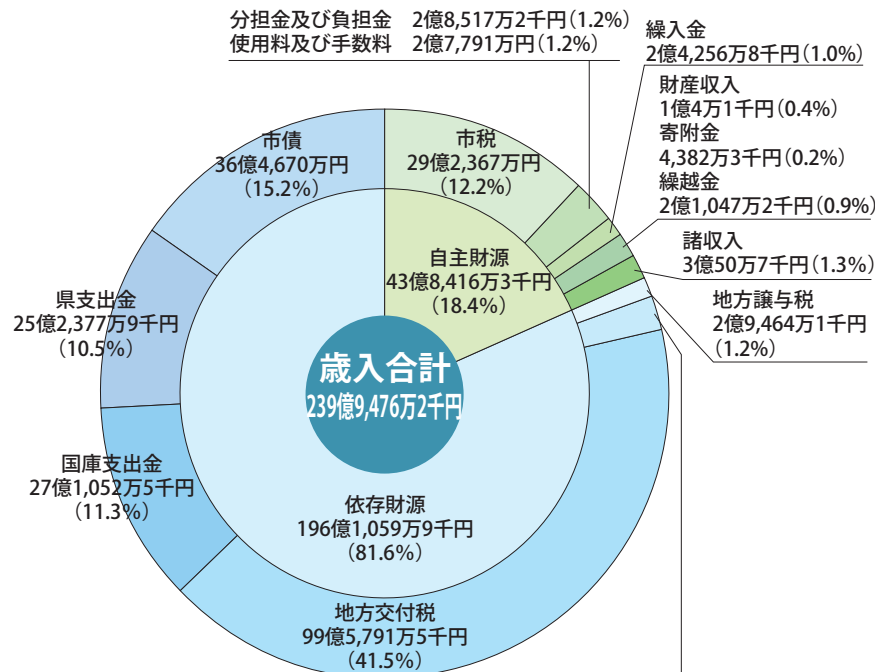
地方交付税や国・県支出金など国や県から交付される財源のこと（家庭で考えると、家や車代のローン、児童手当等の市や国からの支援、農業等への国からの補助金のこと）

地方交付税

所得税など国が徴収した税金の中から市の財政状況に応じて交付されるお金

市債

市の借金のこと。大きな事業を行うため国や金融機関から借り入れるお金



・利子割交付金 954万2千円(0.0%)・配当割交付金 127万3千円(0.0%)・株式等譲渡所得割交付金 136万2千円(0.0%)・地方消費税交付金 3億4,042万9千円(1.4%)・ゴルフ場利用税交付金 1,661万1千円(0.1%)・自動車取得税交付金 4,309万6千円(0.2%)・国有提供施設等所在市町村助成交付金 82万1千円(0.0%)・地方特例交付金 5,625万7千円(0.2%)・交通安全対策特別交付金 764万8千円(0.0%)

12月定例会

予算

☆平成23年度曾於市一般会計補正予算(第5号)

(賛成多数 可決)

今回の補正は、1億665万3千円を追加し、累計予算は231億8065万8千円となります。

歳出の主な事業は、東日本大震災に係わる消防団員等公務災害補償費の増による市町村総合事務組合負担金1410万3千円、対象者の増による自立支援医療給付費982万4千円、利用者数の増による高齢者訪問給食サービス事業2258万7千円、県営土地改良事業負担金5294万8千円、中学校統合に伴う物品等の移転経費等399万1千円をそれぞれ追加し、国の制度改正による子ども手当費4061万3千円、対象者の事業

計画変更による畜産基盤再編総合整備事業2119万1千円を減額するものが主なものです。

☆平成23年度曾於市国民健康保険特別会計

補正予算(第3号)

(全会一致 可決)

今回の補正は、地方公務員共済組合の長期給付に係る負担金率の変更による共済費の追加で、歳入は、一般会計からの繰入金53万5千円を追加し、歳出は国民健康保険総務職員給53万5千円を追加し、歳入歳出62億7238万9千円となります。

☆平成23年度曾於市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

(全会一致 可決)

今回の補正は、一般会計からの繰入金30万9千円を追加し、歳出は後期高齢者医療総務職員給30万9千円を追加し、歳入歳出4億6865万1千円となります。

☆平成23年度曾於市介護保険特別会計補正予算(第2号)

(全会一致 可決)

今回の補正は、保険給付費の執行見込み額の増額に伴うもので、歳入においては、国庫支出金626万6千円、支払基金交付金674万9千円、県支出金381万7千円、繰入金522万5千円の増加が主なものです。

歳出の主なものは、総務費32万9千円、保険給付費2246万4千円、地域支援事業費102万9千円の追加で、歳入歳出47億5090万3千円となります。

☆平成23年度曾於市下水道事業特別会計補正予算(第2号)

(全会一致 可決)

今回の補正は、排水設備工事費補助金が主なもので、歳入では受益者負担金現年度分80万円と一般会計繰入金19万1千円であり、歳出は排水設備工

事費補助金80万円の追加が主なものであり、歳入歳出3億9823万8千円となります。

☆平成23年度曾於市生活排水処理事業特別会計補正予算(第3号)

(全会一致 可決)

今回の補正は歳入においては、浄化槽設置工事分担金129万7千円、市債100万円の追加が主なものです。歳出では、浄化槽の設置基数の増による施設整備費251万1千円の追加が主なものであり、歳入歳出1億55万9千円となります。

☆平成23年度曾於市水道事業会計補正予算(第2号)

(全会一致 可決)

今回の補正は、収益的収入の1606万2千円は水道料金の追加であります。収益的支出については、水源取水ポンプ場等の修繕費有形固定資産除却費の追加が主なものです。

条例

☆曾於市育英奨学金資金貸与条例の制定について

(修正可決)

特別育英奨学資金を廃止し、奨学生及び連帯保証人の資格要件その他規定の整備を図るため、条例を制定するものです。

☆曾於市大隅農産加工センターの設置及び管理に関する条例の制定について

(全会一致 可決)

曾於市大隅農産加工センターの建設に伴い、施設の維持管理を行うため制定するものです。

☆曾於市地域振興住宅条例の一部を改正する条例の制定について

(全会一致 可決)

地域振興住宅建設事業により、市外から曾於市に定住を希望する入居者を募集するに当たり従来の入居者資格の条件を緩和させるため、改正するものです。

陳情

☆郵政改革案の早期成立を求める陳情書

(全会一致 採択)

提出者 曾於市財部町北保6011番地3

坂口 利 幸氏 他3名

1月臨時会

☆パークゴルフ場・フラワーパーク整備事業調査特別委員会を設置

市民の関心が高く、重要な案件であり総合的に対応するため、特別委員会を設置し陳情2件「市民のアンケートで、フラワーパーク公園建設の賛否を決める陳情書」、「仮称パークゴルフ・フラワー公園に関する陳情書」の審査と事業内容等の調査を行う。

曾於市の各施設について、指定期間が平成24年3月31日で満了になることから、引き続きそれぞれの団体へ指定管理者を決定しました。

| | 施設名 | 所在地 | 指定管理者 |
|----|-----------------|---------------|------------------|
| 1 | 曾於市下水道浄化センター | 末吉町二之方577番地 | (株)大隅衛生曾於 |
| 2 | メセナ住吉交流センター | 末吉町二之方2971番地1 | (株)メセナ末吉 |
| 3 | 岩川地区農業構造改善センター | 大隅町中之内9146番地 | 岩川校区公民館 |
| 4 | 大隅南地区構造改善センター | 大隅町月野8949番地1 | 大隅南校区公民館 |
| 5 | 大隅農村環境改善センター | 大隅町岩川2828番地3 | 菅牟田校区公民館 |
| 6 | 清流の森大川原峡 | 財部町下財部6472番地 | 曾於市森林組合 |
| 7 | 財部交流館 | 財部町南俣11219番地 | (社)曾於市シルバー人材センター |
| 8 | 財部南地区公民館 | 財部町南俣5323番地 | 財部南校区公民館 |
| 9 | 財部北地区公民館 | 財部町下財部6650番地 | 財部北校区公民館 |
| 10 | 財部中谷地区公民館 | 財部町下財部5086番地2 | 財部中谷校区公民館 |
| 11 | 大隅高齢者コミュニティセンター | 大隅町中之内6080番地1 | 笠木校区公民館 |
| 12 | 須田木地区青少年館 | 大隅町須田木1416番地 | 下須田木自治会 |
| 13 | 大谷地区青少年館 | 大隅町大谷4211番地1 | 大谷地区こども会育成会 |
| 14 | 折田地区青少年館 | 大隅町中之内2987番地1 | 折田自治公民館 |
| 15 | 光神地区研修センター | 末吉町諏訪方282番地 | 光神校区公民館 |
| 16 | 櫛地区青少年館 | 末吉町南之郷4063番地 | 櫛校区公民館 |
| 17 | 東部地区青少年館 | 末吉町南之郷1615番地3 | 東部地区公民館 |
| 18 | 岩北地区研修センター | 末吉町岩崎3661番地1 | 岩北校区公民館 |
| 19 | 北部地区青少年館 | 末吉町深川15914番地4 | 深川村づくり連合会 |
| 20 | 岩南地区研修センター | 末吉町岩崎2087番地1 | 岩南校区公民館 |
| 21 | 西部地区研修センター | 末吉町諏訪方7833番地3 | 西部地区公民館 |
| 22 | 末吉高松イベント広場 | 末吉町諏訪方7834番地1 | |
| 23 | 柳迫地区研修センター | 末吉町深川13669番地5 | 柳迫校区公民館 |
| 24 | 北部地区研修センター | 末吉町二之方298番地2 | 北部地区公民館 |
| 25 | 末吉寺田コミュニティ広場 | 末吉町二之方298番地1 | |
| 26 | 南部地区青少年館 | 末吉町二之方2924番地7 | 南部地区公民館 |
| 27 | 養護老人ホーム清寿園 | 末吉町二之方3990番地3 | (福)輪光福祉会 |
| 28 | 曾於市民プール | 末吉町二之方2338番地 | (株)メルヘンスポーツ |
| 29 | 曾於市末吉老人福祉センター | 末吉町諏訪方8468番地 | (福)曾於市社会福祉協議会 |

※指定期間は、平成24年4月1日から平成29年3月31日までの5年間です。

ただし末吉老人福祉センターについては、現在計画されている健康増進施設の建設見込みに伴い、平成25年3月31日までの1年間となっています。

～議会構成がかわりました～

議長 谷口 義則

副議長 渡辺 利治

議会運営委員会 (7名)

(副議長・各委員長と委員 3名)

委員長 久 長 登良男
副委員長 原 田 賢一郎
委員 吉 村 幸 治
委員 大川内 富 男
委員 山 下 諭
委員 西 川 熊 則
委員 渡 辺 利 治



文教厚生常任委員会 (7名)

【担当する課】

保健課・福祉課・保健福祉課
福祉事務所・教育委員会等

委員長 大川内富男 委員 大津 亮二
副委員長 今鶴 治信 委員 坂口 幸夫
委員 山田 義盛 委員 徳峰 一成
委員 久長登良男



建設経済常任委員会 (7名)

【担当する課】

経済課・畜産課・耕地課・産業振興課
建設課・水道課・建設水道課・農業委員会等

委員長 山下 諭 委員 西川 熊則
副委員長 八木 秋博 委員 大川原主税
委員 九日 克典 委員 迫 杉雄
委員 原田賢一郎



新体制スタート

議会広報等調査特別委員会

委員長 八木 秋博
副委員長 九日 克典
委員 五位塚 剛
委員 今鶴 治信
委員 久長 登良男
委員 海野 隆平



議会選出監査委員

海野 隆平 議員

議長の指名推薦により議会で決定

大隅曾於地区消防組合議会議員

谷口 義則 議員
吉村 幸治 議員
久長 登良男 議員

曾於地域公設地方卸売市場管理組合議会議員

山下 諭 議員
八木 秋博 議員

曾於地区介護保険組合議会議員

大川内 富男 議員
今鶴 治信 議員

曾於北部衛生処理組合議会議員

吉村 幸治 議員
五位塚 剛 議員
渡辺 利治 議員

任期は
平成23年12月5日
から
平成25年11月30日

総務常任委員会 (7名)

【担当する課】

総務課・地域振興課・企画課・財政課
税務課・市民課・会計課・議会事務局等

委員長 吉村 幸治 委員 海野 隆平
副委員長 五位塚 剛 委員 漆間 純明
委員 土屋 健一 委員 谷口 義則
委員 渡辺 利治



正副議長 就任あいさつ



開かれた議会を目指して

議長 谷口 義則

市民の皆様には、日頃より私ども市議会に対しまして、深いご理解とご協力を頂き心より感謝申し上げます。

さて、昨年12月5日に市議会定例会が開かれ、新しい議会構成が決定いたしました。その中で不肖私、議員各位の御推挙を頂き四代目議長に就任いたしました。改めてその責任の大きさを痛感しております。もとより微力ではありますがありますが、皆様のご指導、ご鞭撻を頂き市政発展のため、

議会のさらなる活性化のために努力して参ります。

私ども議員は自ら研鑽を重ね、市民福祉向上を目的に適正な予算執行がなされているか、議会の使命である本市の具体的な施策の最終決定と市民の立場に立った監視について、真剣に取り組んでおります。特に、「開かれた議会を目指して」ガラス張りの議会運営に心がけて参ります。

そのような視点から昨年6月より、本会議をインターネットに

よる映像配信を実施し、全国どこでも曾於市議会の内容をご覧いただけます。

また、議会運営等調査特別委員会を引き続き設置し、議会改革をさらに推進して参ります。市民目線での議会論議を目指して、議会報告会の実施や、意見交換会の開催により、我が曾於市議会の目指す議会基本条例の制定に向けて、議員全員で取り組む覚悟でございます。

我が国は政治的にも経済的にもかつて経験したことのない

困難な時代を迎えております。本市においても厳しい財政状況ではあります。方主権改革の実現に向けて、議会もその責任を全うすべく努力して参ります。市民各位のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

最後に、市民の皆様のご健勝とご多幸、また、曾於市の限らない発展をご祈念申し上げ、就任のあいさつといたします。



副議長 渡辺 利治

平成23年12月定例会において議員皆様からの御推挙を頂き副議長の一職を仰せつかることになりました。多くのご指導を頂きながら全身全霊で頑張つて参る所存であります。

曾於市も合併して早7年目となりました。市の施設が一部指定管理方式を取り入れ、また24年4月より財部と末吉の地区で中学校がそれぞれ統合されます。保健福祉センターも必要性を認め着実に進めております。

執行部より提案された議案には、議会はチェック機能でもあり市民の代弁者であるがゆえに、厳しいナタを振らざるを得ない事もあります。それが両輪の如く

のたこえであります。

本市議会では、議会運営等調査特別委員会を継続し、市民の声を代表する機関として、議会活動を今以上に市民と密接になるために、また、住民の信頼に堪えていくよう24年5月を目途に議会報告会を実施する計画です。

そして更なる改革を念頭に、今任期中に条例制定に向けて全会一致で決定しております。どうか市民の皆様遠慮なくお聞かせくだされば幸いです。

結びになりますが、市民皆様方のご健勝とご多幸、そして災害のない市の発展を念じ、就任のあいさつとさせていただきます。

一般質問
7議員登壇

市政を問う

フラワーパーク公園づくり
は中止を

市長／赤字でも進めていく



五位塚 剛 議員

五位塚議員 市民の大多数がフラワーパーク公園づくりは中止すべきとの声が多い。中止すべきではないか。

池田市長 中止すべきとの意見も承知している。事業の推進を望む声も多いので進めていく。

問 市民の反対の声を無視し赤字になって借金が増えてくる。赤字の場合市長が自分の財産を担保にして、補償すべきである。

市長 多少の赤字は出ると思うが、自分の財産を出して赤字補てん

する考えはない。

たばこ乾燥場施設の
再利用を

問 たばこ農家の負担金は精算されているか。

市長 負担金は平成21年度ですべて精算が完了している。

問 施設の再利用としてカンシヨ・米・キノ



再利用が望まれるたばこ乾燥場

コ類の貯蔵保冷施設として支援できないか。

市長 補助金返納とまらないよう有効活用できよう検討していく。

四季祭市場に加工施設
と多目的研究施設を

問 現在ある加工施設は出荷者の利用はできない。

近くに出荷者の駐車場を含めた加工多目的研修施設の建設はできないか。

市長 豆腐などの体験加工施設であるので出荷者は利用できない。加工施設や多目的施

設は用地確保や建設費等が必要となり今のところ考えていない。

財部温泉健康センター
の指定管理者の変更を

問 この施設で働く人達も含めて指定管理者の変更を望む声が多い。

新年度から見直しすべきではないか。

市長 22年度中の総合人材センターによる管理はさまざまな問題があり指定管理の取り消しを行う手続きに入った。

その後、同社からは正報告及び改善策が提案され協議の結果、指定管理の継続を決定した。

特別養護老人ホーム
の増設を

問 曾於市内の老人ホームへの入居希望者の待機者は何人か。

市長 市内の特別養護老人ホームは8施設で、定員は381名である。待機者は207名である。

問 今後は老人ホームへの入所希望者はさらに増えてくる。施設の増床や市独自の増設はできないか。

市長 平成24年度から第5期介護保険事業で審議中である。待機者を考えると90床程度必要と考えており民間事業者をお願いしたい。



新設された特別養護老人ホーム

TPPの議論と対応は

市長／関係団体と連携を取りながら
反対していく



迫 杉雄 議員

迫議員 TPPを議論すると、わが国の地方は農業文化で成り立ってきたことから、社会の形態が崩壊していくことが考えられるが、見解と今後の対応は。

池田市長 TPPは関税全廃が原則であり、参加は日本の農業、地域経済が崩壊につながる。本市において、農業は重要な基幹産業で地域経済に深刻な打撃を与えることは明白であることから、今後も関係団体と連携を取り

反対していく。

問 年々、減少していく本市農畜産物生産実績について、今後どのような対応が考えられるか。

平成19年以降の減少額はどうであるか。



改良前



耕作放棄地改良後

市長 耕種部門では干ばつ、低温・多雨等の気象災害による減少と思われる。畜産部門においても平成19年度以降、毎年5億から10億円程度の下落傾向にあり、生産額に換算すると約20億円の減少になる。

問 耕作放棄地、遊休農地が増えるが対策はどうであるか。

市長 平成21年度から国の耕作放棄地再生利用緊急対策事業

で対応している。田畑の耕作放棄地等の面積は、平成20年度が657.8ha、平成22年度が540.3haとなり、事業の効果で減少している。

観光振興について

問 全国的に曾於市の知名度が低いと思うが、どのような見解を持っているか、知名度アップにどう対応するか。

市長 合併後7年目をへて県内においては「曾於市」の知名度は少しずつ浸透していると思うが、全国的にはかなり低いと思う。しかし、「曾於市」の知名度アップについて色々な機会、マスコミ等を通じて日々努力している。

問 本市における観光の素材を今後どのように活かすか、近隣、南



末吉鬼神太鼓



京都で開催された全国鬼サミット

九州として考えはどうであるか。

市長 本市は、県下三大祭りの弥五郎どん、鬼追い、流鏝馬、投谷八幡宮、溝ノ口洞穴など県指定の無形民俗文化

化財や天然記念物をはじめ、悠久の森など美しい自然がある。現在、観光に関する6つの協議会等に加盟しており、今後も観光PRに力を入れていく。

県警深川駐在所の存続を

市長／再編見直しを要求した



九日 克典 議員

九日議員 深川駐在所は半世紀以上にわたって設置されていて地域になじみ、なくてはならない存在だが、地域に於ける駐在所をどうとらえているか。



存続が熱望される深川駐在所

池田市長 現在、曾於警察署の機構は、本署と2ヶ所の交番、7ヶ所の駐在所がある。その中で駐在所は、地域住民と密接に接しており、安全安心のまちを構築するためには、必要な機構であると認識している。

問 当該地域においては、ここ1年の間、重大な事件、事故が多発している。地域住民からの駐在所

所存続の要望が強いが、

市長 地域の警察は、市民の日常生活の安全と平穏を確保し提供されるのが任務であるから、曾於市からみると警らに重点を置くことも、地域に滞在して安心感を得ることも大事であると考ええる。

深川駐在所においては、地域の実態実情からして見直して頂くよう所長へ伝えた。

介護老人福祉施設の充実を

問 高齢者のひとり暮らし世帯と、入所希望者等考慮した施設の増設計画は。

市長 住民基本台帳上では10月1日現在ひとり暮らしの高齢者世帯は、3984世帯となっている。入所待機者は300数名である。

現在、平成24年度から平成26年度の介護保険事業計画を策定中であり、施設整備については90床程度の増設が必要と考えている。

問 旧末吉駅から財部間の県道500号線沿線に老人福祉施設がない。新設の計画はないか。

市長 現在、諏訪地域に福祉施設が集中しているが、社会福祉法人等に対し立地地域等を提案し検討して頂く必要があると考ええる。

問 看取り介護体制は市内の福祉施設に整備されているか。

市長 市内で20施設中15施設が何らかの看取り介護を行っている。

- 看取り加算の指定を受けている施設数
- 特別養護老人ホーム 8施設中4施設
- 老人保健施設 2施設中1施設
- グループホーム 10施設中6施設
- 看取り加算の指定はないが看取り介護を行っている施設は4施設



新設された特別養護老人ホーム

中学校統合の準備は万全か

市長／小規模中学校で学べなかった
学習効果をあげたい



土屋 健一 議員

土屋議員 来年度から末吉と財部で中学校が統合されるが教育的効果は。

植村教育長 集団やグループで互いに学び合える学習指導上の効果や、スポーツや文化活動において選択肢が広がり人間形成上の効果が並びに教職員の配置が充実でき、より深い教育が可能となる。またPTAや地域の規模が拡大し、活動が活発になる等の効果がある。

問 教職員数はどう変わるのか。

教育長 財部中が2人増の19人に、末吉中は現状のまま30人になる。全体で25人の教職員の減となる。

問 県費を含めて財政的效果は。

教育長 県費25人分で1億9000万円減額、市費職員については、7人分で461万円の人件費の減額になる見込みである。

問 通学バスの準備は万全か。利用しやすい計画と地元業者育成も考慮すべきである。

教育長 統合する中学校ごとに3路線を運行し、登校時に1回、下校時に2回運行することとしている。

問 現在の小学校20校の現状と5年後の見込みは。

教育長 次の表のとおりである。(表1 小学校の5年後の予測)

小規模校の将来は

問 小学校区の見直し、統合、再編についての協議は進んでいるか。

教育長 曾於市学校規模適正化計画のなかで、第一次計画の中学校の進捗状況により、第二次計画の小学校を平成25年度から決定すると

なっている。

現在、地域の状況や意見等を聞いている状況である。

県立高校再編は

問 県立高校の現状と再編問題は。

池田市長 県教育委員から出されたこれまでの「県立高等学校の廃止に関する基準及びその適用等」は廃案となっていて今、「大隅

地域高校振興事業」の大隅地域の公立高校の在り方検討委員会で高校教育の充実・振興の視点に地域振興という新たな視点も加えて協議されていく。

各界の意見を取りまとめていきたい。現状は別表のとおりである。(表2 県立高校の在籍状況)

表1

| 小学校名 | 平成23年10月末 | | 平成28年度予測 | | 児童減数 |
|--------|-----------|------|----------|------|------|
| | 学級数 | 児童数 | 学級数 | 児童数 | |
| 1 末吉 | 22 | 576 | 16 | 498 | △78 |
| 2 櫛 | 5 | 40 | 3 | 34 | △6 |
| 3 高岡 | 3 | 14 | 3 | 10 | △4 |
| 4 岩北 | 3 | 22 | 4 | 19 | △3 |
| 5 岩南 | 3 | 19 | 3 | 20 | 1 |
| 6 諏訪 | 6 | 90 | 6 | 65 | △25 |
| 7 光神 | 2 | 12 | 3 | 19 | 7 |
| 8 深川 | 6 | 53 | 4 | 40 | △13 |
| 9 柳迫 | 4 | 40 | 4 | 48 | 8 |
| 10 岩川 | 12 | 291 | 10 | 261 | △30 |
| 11 菅牟田 | 3 | 9 | 3 | 5 | △4 |
| 12 笠木 | 4 | 38 | 3 | 22 | △16 |
| 13 大隅北 | 5 | 48 | 4 | 38 | △10 |
| 14 恒吉 | 3 | 12 | 3 | 11 | △1 |
| 15 恒吉 | 3 | 14 | 3 | 23 | 9 |
| 16 月野 | 6 | 66 | 4 | 42 | △24 |
| 17 財部 | 13 | 326 | 10 | 250 | △76 |
| 18 財部北 | 3 | 16 | 3 | 22 | 6 |
| 19 財部南 | 3 | 27 | 3 | 22 | △5 |
| 20 中谷 | 2 | 10 | 3 | 7 | △3 |
| 計 | 111 | 1723 | 95 | 1456 | △267 |

表2

| 高校名 | 科名 | 平成23年5月1日現在 | | |
|-----|------|-------------|-----|-----|
| | | 学年 | 学級数 | 生徒数 |
| 財部 | 普通 | 1年 | 2 | 53 |
| | | 2年 | 2 | 61 |
| | | 3年 | 2 | 50 |
| | 計 | | 6 | 164 |
| 末吉 | 普通 | 1年 | 1 | 40 |
| | | 2年 | 1 | 37 |
| | | 3年 | 1 | 38 |
| | 生物生産 | 1年 | 1 | 37 |
| | | 2年 | 1 | 31 |
| | | 3年 | 1 | 32 |
| | 情報処理 | 1年 | 1 | 30 |
| | | 2年 | 1 | 35 |
| | | 3年 | 1 | 40 |
| | 計 | | 9 | 320 |
| 岩川 | 普通 | 1年 | 1 | 39 |
| | | 2年 | 1 | 21 |
| | | 3年 | 1 | 29 |
| | 電子機械 | 1年 | 1 | 36 |
| | | 2年 | 1 | 35 |
| | | 3年 | 1 | 38 |
| 計 | | 6 | 198 | |

問題点が多い フラワーパーク

市長／アンケートは実施しない



徳峰 一成 議員

徳峰議員 アンケートを求める市民の会は、5022人の署名と陳情書を市議会に提出した。市長は多くの市民の願いを尊重して、フラワーパークは建設の賛否を含めアンケートを実施すべきではないか。

池田市長 アンケートを実施する考えはない。私は、現在では反対より賛成のほうが多いと考える。

問 フラワーパークに関連して、旧末吉町は類似施設の花房峽憩いの森を10億7000万円かけて建設した。しかし利用者は、現在では最高時の8分の1に激減している。当時建設に議会で賛成した池田市長は、道義的責任は感じていないか。

市長 責任を取る考えはない。

問 フラワーパークの事業費は平成24年、25年度は発表されているが内容があまりで、平成26年度は未発表であり、総事業費は固まっていないではないか。

市長 そのとおりである。



期間限定のフラワーパーク

問 次に維持管理費。パークゴルフ場の年間の歳入を1900万円と発表しているが、机上の計算ではないか。

花を植える面積を聞きたい。

市長 高崎のパークゴルフ場を参考にした試算である。

市長 面積はまだ確定していない。

問 フラワーパークの年間の花の苗代をわずか750万円と発表している。

問 面積を決めず、花の苗代を750万円とはいいかげんな計算ではないか。

市長 維持管理費は、大分県天ヶ瀬のフラワーパークを参考にした。

問 私が天ヶ瀬のフラワーパークを現地調査したところ、今年からコスモスだけの栽培に切り替えていた。台風や梅雨時期は花を植えなおさなければならず経営上困難との説明であった。曾於市の場合、フラワーパークだけでも8ヘクタールと広大な面積の計画である。

全体事業費が固まっている維持管理費は、非常に不十分な内容である。平成24年度から事業に着手することは絶対にやめるべきだ。

市長 3月議会には維持管理費など提案したい。



候補地
末吉町高之峯地区



候補地
末吉町胡摩地区

財部中学校通学路の安全対策を急げ

市長／整備を進めていく



山田 義盛 議員

歩で通学しており大変危険な状況である。視界確保の為に通学灯が必要ではないか。

【図②参照】

山田議員 早馬・湯田線の通学路において、歩道が一部設置されていない所がある。歩道を設置し安全な通学路の確保及び地域住民の安全・安心を確保することが急務ではないか。

【図①参照】

池田市長 用地の取得が可能であれば総合振興計画へ計上し、整備を進めたい。

問 車の往来が多くせまい道路で、暗く視界不良の道を自転車・徒

市長 県道大倉田・財部線から市道湯田・榎木段線、及び市道早馬・湯田線における中学校周辺の照明は、裸電球（旧式）の防犯灯で照度の不足しているので調査し検討する。

問 通学路に次の危険箇所がある為、関係機関への働きかけをするべきではないか。

(1) 県道大倉田・財部線から中学校正門への降り口付近の道路改良について

【図③参照】

(2) 危険な五差路交差点の信号機の設置について

(3) 大型車両の対面走行が困難な状況である新地橋の改良工事について

【図④参照】

【図⑤参照】



財部中学校通学路環境整備図（危険箇所）

市長 道路改良及び新地橋の改良工事は、県に対して要望していく。また信号機については、公安委員会へ調査を依頼する。

情報通信基盤整備の早期の確立を

問 本年10月から末吉、岩川交換局で光ブロードバンドサービスをNTTで開始している。財部交換局は、市の計画で24年に5億円が計上されているが、その構築方法は。

市長 財部は、採算性の問題で通信業者単独での整備は難しいとの回答があり、通信業

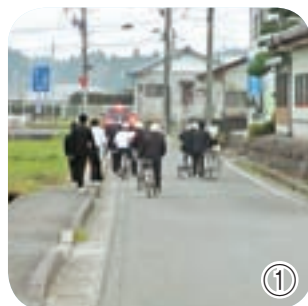
者の整備に対しては市から補助金を交付する「民設民営」方式等他方式を含め検討中である。

問 内村工業団地等の光ブロードバンドサービス化の検討はなされているのか。

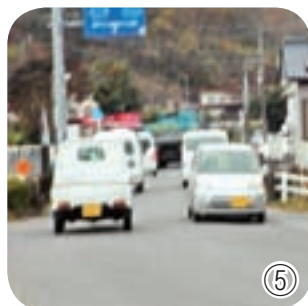
市長 立地企業へのフォローとして、また今後の企業誘致推進の立場からも検討していく。



③



①



⑤



④

霧島市一般廃棄物 最終処理場建設への対応は

市長／再考するよう申し入れたい



坂口 幸夫 議員

坂口議員 霧島市福山宝瀬地区に建設予定の一般廃棄物処理場の今日までの経過は。

池田市長 平成20年4月11日に霧島市長から曾於市に対し廃棄物処分場建設計画説明が行

われ、同月18日には大隅地区の有志で現地確認調査を行っている。主な経過は次のとおりである。

平成20年6月2日

曾於市議会議員への現地説明会

平成20年9月1～2日

大隅町関係住民への説明会（大隅北校区公民館及び岩川農業構造改善センターにて）

平成20年11月10日

地域住民代表より曾於市長から霧島市長に対して候補地の見直しを申し入れるよう要請書を提出

平成20年12月5日

「大隅の水と緑を守る会」が霧島市長、及び市議会に対し候補地の見直しを申し入れる要請書を提出。並びに曾於市長が霧島市長に対し候補地の再考について申し入れ書を提出

平成20年12月10日

曾於市議会による「処分場建設計画の見直しを求める決議」を採択

平成20年12月16日

曾於市議会より霧島市に対し決議文を提出
平成23年5月と、9月に曾於市担当職員による現況調査
以上が主な経過である。

問 曾於市民（下流域関係者）にこれからのように説明されるのか。



候補地と曾於市の位置関係

市長 宝瀬地区は、大隅町を流れる菱田川水系の源流にあたる為、大変気がかりである。農作物や畜産への風評、並びに自然環境保全に

力を入れた田園地帯であり、これらへの影響や生活不安や農家の経営不安を与えるため、霧島市より十分な説明を

していただくよう強く要望していきたい。

問 今後の市長としての考え方と対応は。

市長 廃棄物処分場の構造が高い安全性や周辺環境に配慮したものならば、他の地域でも十分受け入れられるものと判断するので、建設場所については再考するよう申し入れたい。

霧島会議・霧島ジオパーク推進連絡協議会は

問 2つの組織のそれぞれの目的、目標は何か。

市長 まず、環霧島会議の目的は、霧島山を囲む周辺自治体が行政区域を超えて連携し、環境・観光及び防災等に協働し、地域の活性化を図ることである。

次に、霧島ジオパーク推進連絡協議会の目的・目標は、霧島山

の地質遺産を地域住民、行政等が連携し、保護・研究を重ね教育的活用やジオツーリズムとして利用できるような環境整備を行い地域社会の活性化に寄与することである。

問 曾於市へのメリットは。

市長 観光・農業・教育等において寄与するものと思っている。まちづくりを推進する中で、単独で行うより地域の活性化が図られる。

問 2つの組織の今後の展開は。

市長 環霧島会議は、関係市町の圏域に係わる課題等に対し連携・協議し、地域振興につながる方策を展開していくものと考えている。

霧島ジオパーク推進連絡協議会については、世界ジオパークへの登録に向けて取り組む。

委 員 会 報 告

- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会
- 議会運営等調査特別委員会

各常任委員会では、開会中の12月定例会で付託になった議案・陳情について審査を行いました。

総務常任委員会

(吉村幸治委員長)

☆都市との定住自立圏の変更協定

問 教育及び文化を新たに追加する協定であるが詳細については、いつ頃を目途にたたき台を出すのか。

答 今回3市1町の議会の議決を持って年明けに部会が開かれる予定であり、各市町施設の利用料金体系の状況を収集し検討していく。

問 内容にはまだ十分踏み込んでいない形での締結となり、学校関係などいろいろな問題が山積している中で、見切り発車になるのではないか。

答 まず協定の中で、今後協議をしていくことを決め、締結後に開催される専門部会にお

いて、高校再編等の問題も協議されていくものと思っている。

なお、6月議会の頃に中間報告を考えている。

☆平成23年度曾於市一般会計予算の補正(所管分)

問 パークゴルフ・フラワーパーク公園整備事業の*プロポーザル(提案型)は、指名選考か、公募か、また現場説明会を開催したというこ

とであるが、基本的にどのような内容の設計依頼をしたのか。

答 指名選考委員会を開いて決定した。設計内容については、パークゴルフ場は色々な制約があるので、54ホールを日本公認コースに、花の方はパークゴルフ場を配置した残りの部分に、花公園・通路等をいろんな地形を考慮して配置する。

また高齢者等の来場が多いと予想されるので、花を見るときに高低差等で、歩行の負担を軽減するような内容



市外からも受講者が多い総合大学

の設計を依頼した。

問 消防団員等公務災害補償の共済掛金の増額の理由は。

答 東日本大震災により消防団員255名の方が被災され、被災者に対する補償が従来の一人当たり1900円の共済掛金では対応できなくなり全国の市町村で抱える全消防団員の共済掛金を今回2万



堂々で行進する消防団員

4700円に引き上げるもので、本市の消防団員620名分の増額分である。

この措置は平成23年度1年限りのものである。

注釈 プロポーザルとは建築物の設計者を選定する際に、複数の業者に企画・提案してもらい、その中から優れた提案をおこなった者を選定すること。

文教厚生常任委員会

(大川内富男委員長)

☆曾於市育英奨学資金 貸与条例の制定につ いて

問 主な内容は。

答 育英奨学資金のうち高校の授業料相当額を貸与していた特別育英奨学資金を、国の高校授業料無料化に伴い廃止する内容である。

問 廃止に代わる支援制度は議論されたか。

答 生徒の資格取得等への支援も検討したが、高校生の海外研修（ホームステイ）を実施し高校振興を図った。

問 貸与金額は、現状に合うよう増額が必要ではないか。

答 近隣市町村の現状も研究していきたい。

☆指定管理者の指定に ついて

問 これまで指定管理されていた各施設の指定期間の満了に伴い、引き続きそれぞれの団体を指定管理者として指定するものである。

問 養護老人ホーム清寿園の指定管理の経過・内容について。

答 公募により、社会福祉法人輪光福祉会に平成24年4月1日から5年間、指定管理者として指定するものである。

主な意見 公募に関しては、市のホームページ等を積極的に活用すべきである。

問 市民プールの利用者増を図るため、各種

大会等で会社名を前面に出した宣伝を積極的にすべきではないか。

答 指定管理者と検討し努力していきたい。

☆平成23年度一般会計 補正予算(所管分)

問 高齢者訪問給食サービス事業委託料

2258万7千円の増額は。

答 平成23年5月より末吉地区、6月より大隅地区で、土・日・祝日の配食サービスが実施され、利用者増に伴うものである。

問 子ども手当費4061万3千円の減額は。

答 これまで一律1万3千円の支給が、平成23年10月より3歳未満一律1万5千円、3歳以上小学校修了前1万円(第3子以降1万5千円)中学生は一律1万円に改正された為である。

問 ドクターヘリと本市の関わりは。

答 曾於市内のランデブーポイント(離着陸場所)は、学校施設や公園など合わせて24箇所あり、鹿児島市から



期待されるドクターヘリ

本市までの所要時間は約15分である。

問 スクールバス停留所設置等工事費197万7千円について。

答 中学校統合に伴うスクールバス導入計画(案)により整備するものである。

主な意見 停留所については、交通量や外灯などに配慮され、安全面・防犯面に十分留意されたい。



指定管理されている市立養護老人ホーム(清寿園)

建設経済常任委員会

(山下諭委員長)

☆平成23年度曾於市 一般会計予算の補正 (所管分)

問 環境保全型農業直接支払交付金事業による交付金の支払はどうなっているのか。

答 新規事業としてエコファーマー認定農業者に対し、10a当たり国が直接本人へ4千円、県2千円、市より2千円交付し活動を支援す



環境にやさしい白菜畑

る制度である。
本市では財部地区3人、末吉地区6人、大隅地区12人、計21人が申請している。

意見 作物の種類は問われない事業、環境保全型農業は今後の重要な農業施策の中心となるので、もっと周知に努め参加農家を増やし、市農産物の安全性を推進すべきである。

問 畜産関係について、特産基盤再編総合整備事業の減額是何か。

答 当初、施設の用地造成と牛舎建設、機械導入と測量試験費で事業を計上していたが、個人から株式会社へ組織変更のため法人化の手続きに手間取り年度内での全体工事の完成が困難となったことから減額した。

意見 この事業については大規模農家育成が中心なので、それ以外の農家育成に関する施策も充実すべきである。
問 大隅南地区の県営かんがい排水事業の現在の進捗状況は。
答 対象面積212ha、受益農家272戸、同意率93%、全体事業費22億300万円を見込んでいて、平成33年までの計画である。

問 交通安全施設整備事業において中学校統合に係る通学バス停周辺外灯設置とあるが、設置場所はどこか。

答 中学校統合に伴う交通安全対策として南之郷コース1基、財部南コース5基、財部北コース4基、計10基の通学バス停周辺の外灯を設置する。

☆平成23年度曾於市水道 事業会計予算

今回の補正は、平成22年に予備水源として掘削した八反第2水源(末吉)の結果が、水量は充分確保されるが水质において飲料水不適合の結果となった為による減額が主なものである。
意見 委員会としては、慎重に水源地さく井箇所選定はなされていたと認められるが、水量不足を起さないよう万全を期してもらいたい。

☆大隅八合原農産加工センターの設置及び管理に関する条例について

問 大隅に建設中の大隅農産加工センターの概要は。

答 建築面積919.47㎡、農産加工室、研修室、相談室があり、平成24年2月に完成、備品購入や外構等整備後、4月から使用開始する。



待望の大隅農産加工センター(工事中)

市としては、市民に使用方法を熟知させるため臨時職員を2年間程度置き、直営として管理する予定である。

意見 減免規定を活用し、地区公共的団体の積極的利用促進を求める。

注釈 エコファーマーとは：堆肥等を活用した土づくりと化学肥料・農薬の使用の低減を一体的に行う環境にやさしい農業に取り組み農業者を県が認定し支援する制度

議会運営等調査特別委員会

(久長登良男委員長)

特別委員会は、平成23年12月22日の本会議で、議会の機能を十分発揮するために、言論の府としての議員の発言を保障し、活発な議論を推進することと、

二元代表制の一翼として行政機関との緊張ある関係を保ちながら、共通の目的である市民の付託に耐え得る議会を構築していくことを目的とし、議長を除く全議員によって設置された。

第一回小委員会においては、まず基本条例を中心に調査研究を進めていくことが決定された。

第二回特別委員会は、平成23年4月26日に開き、委員全員による調査方法には、機動性に欠けるなどの意見から、7名の委員による小委員会が設置された。

第五回小委員会では、今後の取り組みについて課題の抽出が行われ、議会基本条例制定に向け協議していくうえで、検討する具体的な審査事項

○ 議会議事堂

○ 議会報告会を実施要領に基づいて実施する
○ 各委員会は必要に応じて自由討議を行い、委員会の充実を図る
○ 12月定例会以降も特別委員会を設置し、継続して調査する

○ 会派制、申し合わせ事項については、次期特別委員会で引き続き調査することとした。

第一回特別委員会は、平成23年1月26日に開かれ、特別委員会の調査項目として

- ① 基本条例
- ② 会派制
- ③ 議会運営

に関する申し合わせ事項の3項目を中心に、調査研究を進めていくことに決定した。

第二回小委員会では、先進地の条例の比較表を作成し、研究を行ったところ、議会報告会、意見交換会、議員間で行う自由討議、政策討論会、文書質問等を引き続き協議することとした。

第三回、第四回の小委員会では、基本条例設定に向けたスケジュール案の作成を行うと

- ① 議会報告会の検討
- ② 意見交換会の検討
- ③ 議員間の自由討議の導入
- ④ 政策討論会

以上の小委員会の調査経過を踏まえ、平成23年11月18日に第四回特別委員会を開き、慎重に審査をした結果、議会運営等調査特別委員会としての最終方針が確認された。

第六回委員会では、議会報告会、意見交換会の実施に向けて、その必要性を確認し、現在、各市で実施されて

いる議会報告会の実施要領及び内容を参考にしながら協議した結果、曾於市議会として、毎年3月定例会後、おおむね二ヶ月以内に市内3地区（末吉地区、大隅地区、財部地区）で議会からの報告並びに市民との意見交換を内容とする議会報告会を開催する方向性が示された。



傍聴席から見た議事堂

平成23年12月22日 意見書を提出!!

APEC での TPP 交渉参加表明に抗議する意見書

野田総理大臣は、11月のアジア太平洋経済協力会議（APEC）首脳会議において、「環太平洋経済連携協定（TPP）交渉参加に向けて関係国と協議を開始する」と述べ、事実上の交渉参加を表明した。その後、TPP交渉参加にあたって国会審議における閣僚間の答弁の食い違いや日米両国政府の発表に矛盾が生じる等、TPPを巡る混乱に拍車がかかっている。

TPP交渉参加にあたっては、交渉で協議されている事項が何なのか、我が国の利点・不利となる点や国益上の問題が何か、いかなる対策を検討しているのかが国民に示されないばかりか、政府内の各省の試算がバラバラであることや政府が正確な情報を出さないことから、国民的議論が全く熟していない段階である。特にTPPは「聖域なき関税ゼロ」が前提とされているにもかかわらず、これに我が国がどのように対応するのが不明確な中で参加表明に踏み切ったことは、拙速のそしりは免れない。

また、与野党を問わずAPECでの拙速な参加表明に慎重な意見が続出し、地方議会でも、本県をはじめとして交渉参加に反対する意見書が相次いで可決される中、こうした声をないがしろにし、事実上の交渉参加に踏み切ったことは極めて遺憾であり、政府のこのようなTPP交渉参加表明に断固抗議するものである。

本県は全国有数の食料供給県であり、県内の市町村の多くは農業が基幹産業となっている。本市においても農業は重要な産業であり、地域経済に深刻な打撃を与えることは明白であります。

今後、政府はTPPに対する国民的議論が熟すよう、交渉で得られた情報は速やかに明らかにし、TPPの利点・不利となる点・国益上の問題をわかりやすく国民に説明するとともに、交渉の結果、我が国の国益が損なわれる場合は、交渉から離脱するよう強く求める。

内閣総理大臣 他 関係大臣等へ提出

表紙によせて



霧島おろしの寒風の中イチョウの落葉を踏みしめ、途中であきらめず、最後まで頑張れという校長の励ましのもと力走する深川小児童の持久走大会です。明日のアスリート誕生を期待するところです。先般、当小の学習発表会で5・6年生の子どもたちは自分の将来の夢を苦勞しながらも作詞・作曲して堂々と発表しました。校訓の「かしこく」「なかよく」「たくましく」を指針として目標である「そおっ子の夢」実現に向けて頑張ってください。（九日）

編集後記

2月に入り各地で梅の便りが聞こえ、春の訪れを間近に感ずる季節となりました。

昨年は、1月の新燃岳の噴火に始まり、3月には東北大震災、7月には集中豪雨による豪雨災害、12月には桜島噴火による豪灰と「天変地異」を思わせる自然災害にみまわれた年でありました。

今年こそは、日々穏やかな年であってほしいと願うばかりです。昨年12月には新たな議会構成となり、議会

だよりも新メンバーでの発行となりました。掲載内容については、タイムリーにしかも的確にわかりやすい紙面を心掛けて参ります。どうかご愛読くださいますようお願い申し上げます。（海野）

議会を傍聴してみませんか

次の定例会は2月24日開催の予定です。定例会の日程、傍聴、その他についてのお問い合わせはお気軽に議会事務局にお尋ねください。

TEL 76-8816（直通）

議会広報等調査特別委員会

| | |
|-------|-------|
| 委員長 | 八木 秋博 |
| 副委員長 | 九日 克典 |
| 委員 | 今鶴 治信 |
| 委員 | 五位塚 剛 |
| 委員 | 久長登良男 |
| 委員 | 海野 隆平 |
| 発行責任者 | 谷口 義則 |